

研究課題名	ECPR の施設経験数の増加が ECPR を受ける院外心停止患者の予後に与える影響
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗
研究期間	実施許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日
対象者	JAAMOHCA レジストリ 2014-2020 年に登録されている院外心停止患者さん
意義・目的	体外式膜型人工肺を用いた心肺蘇生（Extracorporeal cardiopulmonary resuscitation：ECPR）の経験数増加が、心停止患者の治療プロセスや予後に与える影響を調査します。
方法	日本救急医学会が運営する院外心停止患者のレジストリである JAAM-OHCA レジストリデータを解析して行います。施設での ECPR 症例数と患者の治療プロセス（病院到着から体外式膜型人工肺開始の時間、など）や予後との関連を調査します。個人が特定できる情報を含んでいない院外心停止患者情報を、日本救急医学会から CD-R で提供を受ける。
研究の実施体制	研究代表者 広島大学病院救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗 試料・情報の提供機関 日本救急医学会事務所 委員長：田上 隆
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 志馬 伸朗
個人情報保護について	調査内容については、プライバシー保護に十分留意して扱います。氏名等の個人が特定できる情報を含んでいない情報を受け取り解析しますので、個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5456 広島大学病院救急集中治療科 職名 助教 菊谷 知也